

令和2年9月8日

保護者 様

トロント補習授業校  
校長 川村 武弘

## トロント補習授業校 オンラインによる指導の継続について（第2報）

日頃から本校の教育活動にご理解・ご協力いただき誠にありがとうございます。

第1報でお知らせしましたように、本校の第2学期は、9月12日（土）のオンラインHR・課題提供で始まり、9月26日（土）からは、「オンライン授業（ライブ授業）」を取り入れた学習内容へと大きく改善して参ります。

本日は、9月26日（土）より開始します「オンライン授業（ライブ授業）」と「課題学習」の説明を中心に、2学期の学習形態についてご説明させていただきます。

「子どもたちの学びを止めない」の理念のもと、本校の設立目的である「本校は海外に長期在留した後、本邦に帰国する海外勤務者等の子女に対し、帰国してから適応できる学力の維持、増進を図るために、日本語による教育をすることを主たる目的とする。」を達成するため、下記の通り「オンライン授業（ライブ授業）」と「課題学習」を実施します。

記

### 1 第2学期の授業形態

- ・「オンライン授業（ライブ授業）」と「課題学習」（9月26日（土）～）

【オンライン授業（ライブ授業）の時間】 ※ 各学年の時間割は別表でご確認ください。

（「朝の会」の設定は、いずれの学部も9：00～9：10）

- ・幼稚部…学習25分と「おはなしの時間」「体操の時間」（9：10～10：05）
- ・小学部…40分授業4限（9：10～12：20）
- ・中学部…国語・数学50分授業、理科・社会40分授業（9：10～12：40）
- ・高等部…3限授業（授業の長さは時間割でご確認ください）（9：10～12：30）

### 2 第2学期の授業構成の基本的考え方

**（1）「オンライン授業（ライブ授業）」をできる限り多く確保する**

→日本語力・学力の伸長

本校の「設置目的」は、ご承知のように、以下の通りです。

**【トロント補習授業校の設置目的】「本校は海外に長期在留した後、本邦に帰国する海外勤務者等の子女に対し、帰国してから適応できる学力の維持、増進を図るために、日本語による教育をすることを主たる目的とする。」～校則第2条（目的）より**

「学力の維持、増進を図るために日本語による教育」を行うということで、この目的を達成するためには、やはり一定時間「日本語を十分聞いて話す時間が必要である」と考えました。

そこで、2学期より、日本語力と各教科の力の伸長のために「ライブ授業」をできる限り多く取り入れた授業構成とします。「ライブ授業」に参加することで、教員や級友と日本語を使って学び、「日本語に触れる時間を確保」し、担任・級友との絆を深めながら、緊張感のある「授業」を通して、お子様の日本語力と各教科の力の向上につなげていきたいと考えています。

午前中の「オンライン学習（ライブ授業）」では、お子様と担任、級友の双方向のやり取りを通して、日本語・教科の力だけでなく、交流を通して、様々な刺激を得ることもでき、学習意欲の維持向上も図れるのではないかと期待しています。

また一方で、「オンライン学習（ライブ授業）」には、ご家庭でのご支援が欠かせません。必要に応じ機器の設定等、授業中のサポートをお願いいたします。

## **（2） 午後の「課題学習」で主体的に学習に関わる姿勢を身につけ 学力の定着を図る**

午後は、お子様は、「課題学習」に取り組んでいただきます。「課題学習」を「自ら進んで学習する姿を身につける絶好の機会」ととらえ、学習に取り組んでいただきたいと思えます。

この間、各教員は提出された課題の確認やフィードバック、その後の課題作成や次週の準備に当たります。午後の学習中に生じます疑問点への対応につきましては現在検討しております。学校だより等でご連絡申し上げます。

ご家庭におかれましても是非とも励ましの言葉をかけていただき、新学習指導要領の求める「学びに向かう力」（主体的に学習に関わろうとする力）の獲得に向けて支援をしてやっていただきますようお願いいたします。

### ※「終わりの会」の設定

「課題学習」の時間につきましては、これまで同様、学校から提示されます「課題」に取り組んでいただくわけですが、2学期からは、これまで補習校の授業があったときと同時刻に（幼稚部を除く）「終わりの会」を設定しました。

「終わりの会」でもう一度担任の先生に会うこととなりますので、午後の「課題学習」の時間も「補習校での学習時間」であることをより子どもたちへ意識付けすることができ、子どもたちの学習意欲の維持ができればと考え「終わりの会」を設定しました。

2学期からは、午前中の「オンライン授業（ライブ授業）」と午後の「課題学習」で土曜日1日の学習を進めていただきます。この2つの組み合わせで学習量を確保し、1年間の学習内容を終わられるように計画しています。

## 3 その他

### ※「朝の会」の設定

1学期に実施した「オンラインHR」では、接続に苦労されたり、接続まで時間がかかったりする場合も見られたようです。これまでも補習校の授業日にあった「朝の会」を実施し、この間に学級のみんが入室し、1時間目が円滑に始められるようにしたいと思います。

同時に、担任が健康観察を行ったり、友達同士が近況報告をしたり等、「日本語をたくさん聞き使う場」としての機能も期待しています。

### ※「教室で行ってきた授業」から始め、授業方法・内容の改善をめざします。

「オンライン授業（ライブ授業）」は本校では初めての取組ですので、今後、オンラインによる授業の進め方等についても研修を深め、その充実をめざしていかねばならないと考えています。

教員には「これまで教室の授業で行ってきたものを基本にして、オンラインの特性を生かして工夫して授業を改善していこう」と話しています。

オンライン学習は、顔を見てつながり合い、学習が進められるなど長所もありますが、教室と全く同じことはできない側面もあります。教員の自宅等からの配信となり、学校のような黒板もなければ、机間巡視もできない、その場でノートやプリント等の確認やまる付けもできない等々の違いがあることもご理解いただけることと思います。

教員が協力し合いながら、学習方法・内容の改善・向上に向け努力して参りますので、ご理解とご支援の程、よろしくお願いいたします。